



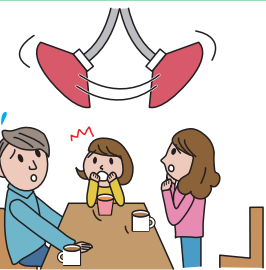







震度

震度はどうやって決めるの？

気象庁が発表する震度は、地震の揺れの強さを震度計で観測したものです。発生した現象や被害の様子から決めるものではありません。発表する震度は「震度計のある場所」の震度であり、同じ幸田町内でも場所が違えば震度が異なる場合があります。

震度と揺れ等の状況

<p>震度 0</p>  <p>人は揺れを感じない。</p>	<p>震度 1</p>  <p>屋内で静かにしている人には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p>震度 2</p>  <p>屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。</p>	<p>震度 3</p>  <p>屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
<p>震度 4</p>  <ul style="list-style-type: none">•ほとんどの人が驚く。•電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。•座りの悪い置物が倒れることがある。	<p>震度 5 弱</p>  <ul style="list-style-type: none">•大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。•棚にある食器類や本が落ちる事がある。•固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	<p>震度 5 強</p>  <ul style="list-style-type: none">•物につかまらなると歩く事が難しい。•棚にある食器類や本など落ちる物が多くなる。•固定していない家具が倒れることがある。•補強されていないブロック塀が崩れることがある。	
<p>震度 6 弱</p>  <p>耐震性が高い 耐震性が低い</p> <ul style="list-style-type: none">•立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。•壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。•耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。	<p>震度 6 強</p>  <p>耐震性が高い 耐震性が低い</p> <ul style="list-style-type: none">•はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。•固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなる。•耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。•大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。	<p>震度 7</p>  <p>耐震性が高い 耐震性が低い</p> <ul style="list-style-type: none">•耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。•耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。•耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。	

参考文献：気象庁 「震度と揺れ等の状況(概要)」



問1

正解は ① 10 段階 でした！

震度は、地震による揺れの強さを総合的に表す指標で、防災対応の基準として利用されています。上の解説表は、ある震度が観測されたときに、その周辺でどのような現象や被害が発生するかを目安を示す資料です。